

審議会等の会議結果報告

1. 会議名	令和元年度松阪市交通安全対策委員会
2. 開催日時	令和元年7月30日（火） 午後3時30分から午後4時30分まで
3. 開催場所	松阪市船江町1392番地3 松阪公民館 講座室1
4. 出席者氏名	委員：原田孝夫、井上珠美（代）、山本 嘉、坪内弘明、水谷勝美 田上勝典、渡邊幸香、長井俊明、青木成子、高島清子 大井秀寿、北村富美子、堀口信男、深田 龍、長井茉希 竹川浩司（代）、廣野修、新山勝保、金谷勇、青木恵美子 警察：服部 昌史 三重県：後久建治 事務局：村林 篤、越川元博、大茂裕明、脇野光弘、今井奏美 市役所：阪井正幸、鈴木英之、石川圭一、榊原典子 前川元昭、川合正人、南出孝次、松本守男
5. 公開および非公開	公開
6. 傍聴者数	0人
7. 担当	松阪市 環境生活部 地域安全対策課 電話：0598－53－4061 FAX：0598－22－1057 e-mail：anz.div@city.matsusaka.mie.jp

※議事録は別紙参照

松阪市交通安全対策委員会の結果報告について

開催日時：令和元年 7 月 3 0 日（火）

午後 3 時 3 0 分から午後 4 時 3 0 分まで

開催場所：松阪公民館 講座室 1

出席委員：2 0 名参加（内代理出席 2 名）

1 開 会

2 委嘱状の交付

市長より委員に対し、委嘱状を交付。

3 あいさつ

○松阪市長

- ・おとつい 7 月 2 8 日に交通死亡事故が発生した。
- ・5 月に交通死亡事故が増えてきて、大津の事故もあり、声かけプロジェクトというのを市内各地にポスターを作って貼らせてもらった。
- ・矢先、6 月に交通死亡事故が 3 件あり交通死亡事故多発注意報を発令した。それで 7 月に入ってまたこういうことが起こって、今、松阪市内で 9 名になった。去年は 6 名だったので 1. 5 倍になる。しかも、県内で人口の多い四日市や鈴鹿は一人ずつである。県下は圧倒的に減っている、松阪だけが急増している状態である。
- ・これから皆様方に対策案に対してご協議をしていただきたい。本日、1 0 時 3 0 分に記者会見を行って多発警報を発令いたしました。

4 委員長の選任及び幹事、書記の任命について

○委員長の選任について

委員長を事務局より提案し、承認された。

○幹事、書記の任命について

幹事、書記を指名。

○委員長あいさつ

- ・日曜日に 2 名の方が亡くなられるオートバイの交通死亡事故が発生しました。
- ・松阪市内での交通死亡事故死者数は、1 月から、現在まで 8 件、9 名の方が亡くなられるという厳しい状況が続いている。「松阪市交通死亡事故多発警報」が本日より発令され、その対策についても御協議いただきます。
- ・各団体においても、交通事故の状況を厳しく受け止め、交通事故防止に努めていただきたい。

5 交通概況について

○松阪警察署交通第一課交通総務係長より説明

- ・ 7月29日現在、県下では39人の方がお亡くなりになっています。前年比でマイナス12人である。人身事故2,146件のうち追突と出会い頭で65%を占めている。
- ・ 松阪署管内では10件、11名となっている。市内では8件9名である。11名中、高齢者4名である。また、11名中、5名が二輪の死亡事故のうち自動二輪車が2件3名の事故でいずれも右折する普通乗用車と対向する二輪車の事故であります。
- ・ 松阪署管内の人身事故は190件発生している。昨年比マイナス72件で減少している。190件中、追突が93件で49%と半分を占めている。42件、21%が出会い頭の事故である。
- ・ 追突の原因は単純なもので車がスムーズに流れて止まることはないと思って、たばこを取ろうとした、CDを替えようとした、携帯電話を操作した、といったわき見の事故である。それとか、信号待ちで止まっていたが助手席のものを取ろうとして足が離れるとか、停止中に携帯電話を操作した。前方の車が発進していたので、前の車も発車するだろうと思って発進した、というような原因の事故となっています。
- ・ 出会い頭の原因は、一時停止を見逃したり、交通量が少ないので、安全確認をせずに出てしまう、というような事故が多い。見通しが良くても事故が起こっているの、安全確認、一時停止をしっかりするということが大事となってきます。
- ・ 取り締まりでは、飲酒運転の事故がゼロにならない。飲酒運転は、ひき逃げにもつながる。シートベルトの関係では、昨年、県下で35名の交通死者数であったが、そのうち、19名がシートベルトをしていなかった。54.3%が不着用である。19名中、12名がシートベルトをしていれば助かっていた、という数字も出ているので取り締まりを強化している。全席の着用が必要である。
- ・ 毎月11日を横断歩道SOSという日に設定をして交通指導や広報啓発活動をしている。
- ・ これから夏本番を迎えて、こまめな水分補給をして体調管理をしっかりしていただいて、交通事故をしない、交通事故に会わないようにしていただきたい。交通事故はちょっとした不注意で起こってしまう、他人の命を奪ってしまうので、関係機関の皆さん方と連携を図りながら交通事故防止を行っていきたいのでご協力をお願いします。

6 協議事項

(1) 市の交通死亡事故多発警報発令に伴う対策事項について説明。

(質疑) 委員長

- ・ 注意報が本日から警報に切り替わりました。8月はたいへん暑い時期

でもあるので、各委員の団体の関係の皆様にとっても、体にとっても厳しいですがお仕事頑張ってください。

(2) 市の交通安全対策について説明。

【質疑応答】

(質疑) 委員長

- ・ 県の対策についても説明をお願いしたい。

(応答) 松阪地域防災総合事務所地域調整防災室地域防災課主幹

- ・ 交通安全意識とマナーの向上に向けた啓発協議、飲酒運転の撲滅、安全で快適な交通環境の整備についての取り組みを県全体で進めている。
- ・ 春、夏、秋、年末の交通安全運動を実施している。高齢者や子供など交通弱者が事故に会うことが多いことから高齢者に重点をおいている。
- ・ 県松阪庁舎職員交通安全ボランティア活動として、毎月 11 日啓発活動を行っている。
- ・ 交通安全シルバーリーダー育成研修を実施している。平成 30 年度は松阪自動車学校で実施している。
- ・ 高齢者向けの情報提供をメールマガジン三重版の交通安全瓦版による交通安全啓発を実施している。
- ・ 県職員に対する交通安全研修を年 4 回実施。
- ・ 無事故無違反チャレンジ 123 事業を実施。
- ・ 交通安全あんなびカルタは、9 組ある。社会福祉法人とか、松阪市社会福祉協議会へ貸し出している。学校や保育園、また自治会でも活用していただきたい。

(質疑) 委員

- ・ 資料 2 の 2 ページで六根腹太線のカラー舗装の完成写真で横断歩道の塗り直しはなぜ一緒にしないんですか。

(応答) 建設保全課

- ・ 公安委員会になる。

(質疑) 委員

- ・ 横断歩道の要望を何度もするとそこは直してもらえるが、近くでも他はしてもらえないことがある。

(応答) 建設保全課

- ・ 公安委員会とどこをやるか補修箇所を協議して、より良くなるように今、協議をしているところである。

(応答) 委員長

- ・ 横断歩道については、三重県内で 2,000 箇所を今年は直す。松阪

市内は１００箇所しか行えないと聞いている。必要性の高い箇所から手直しをしていくと思うがなかなか予算がついてこない。

7 その他

事務局より対策委員会は基本的に年１回の開催であること、死亡事故が多発した際には臨時で開催されることを連絡。

8 閉 会